※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　国語科

科目	基礎国語	単位数	２	必要Ｓ出席数	２
使用教科書	なし				
副教材等	クリアカラー国語便覧　（数研出版）				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６通	２	２	２
スクーリング	８回	３	３	２
テスト	１回	○	×	○
課題・実習等	試験 40 点未満	再試験		再試験

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新課程生・旧課程生いずれも受講することが出来ます。
レポートは、学習書・副読本や辞書を利用することで、国語が苦手な人でも完成できます。間違って覚えてしまっている漢字や慣用句、四字熟語があります。すべての問題を一つ一つ教科書で丁寧に確認してレポートを完成させ、期限までに提出するようにしましょう。

２　学習の到達目標

国語を的確に理解し、適切に表現するために必要な知識、技能を身につけるとともに、言語に対する関心を高め、言語感覚を磨き、国語の力の向上を図る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くための基礎的な国語力を身につけている。 自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、目的に応じてさまざまな書物を的確に読み取ったり、読書に親しんだりするための基礎的な国語力を身につけている。	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	①漢字の知識 ②対義語・類義語 ③同音異義語 　同訓異義語	a：漢字の成り立ちや使い分けについて理解できるようになる。 b[　書　]：熟語や四字熟語を正確に書くことが出来る。 c：副読本を適切に使ってレポートに取り組み、期限内に提出しようとしている。 　自身の学習を振り返り、学びを深めようとしている。	レポート	レポート	レポート スクーリング
2	①四字熟語・三字熟語 ②敬語の知識 ③難読語	a：　四字熟語や三字熟語の意味や用法、また、使い方を理解し、使えるようになる。難読語を読めるようになる。 b[　書　]：熟語や四字熟語を正確に書くことが出来る。 c：副読本を適切に使ってレポートに取り組み、期限内に提出しようとしている。 　自身の学習を振り返り、学びを深めようとしている。	レポート	レポート	レポート スクーリング
3	①ことわざ ②慣用句 ③故事名言	a：ことわざ・慣用句・故事名言の成り立ちや意味を理解し、正しく使えるようになる。 b[　書　]：故事成語やことわざ・慣用句の意味を理解し、正しく使うことが出来る。 ｃ：副読本を適切に使ってレポートに取り組み、期限内に提出しようとしている。 　自身の学習を振り返り、学びを深めようとしている。	レポート テスト	レポート テスト	レポート スクーリング テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度